

# みみだより

松江ろう学校 支援部  
No. R3-5 2022. 3. 10

3月に入り、春の気配を感じるようになりました。今回のみみだよりでは、ろう学校卒業後に向けての取り組みを中心にお伝えします。

## 自立活動の取り組み ～言語聴覚士 玉川先生との授業～

卒業後の活用を目指して自分の“説明書”を作成するという高等部の取組を紹介します。自分の“説明書”とは、自分の特徴(得意なことや苦手なこと等)やお願いしたいこと等を紙面にまとめたもので、周囲に自分自身のことを理解してもらうためのツールとして活用します。自分自身のことを周囲に理解してもらうことは、学校や職場等で自分の力を発揮していきいきと学んだり働いたりするための環境づくりにつながります。

玉川先生との授業では、高等部生徒が事前に3点(①自分のきこえ②補聴手段とコミュニケーション手段③周囲の人にお願いしたいこと)についてまとめたものをもとに、相手によりわかりやすく伝えるための説明書を目指して内容の改善に取り組みました。

玉川先生との対話の中で、生徒は「きこえる人は、話しかける時に相手の名前を呼ぶのですか。」等の質問をする姿がありました。この姿から、きこえる人のことを知ろうとする気持ちが伝わってきました。そして、きこえない人、きこえる人お互いのことを尊重する思いを持ちながら、相手に何をどのようにお願いするのかを考えることの大切さに改めて気づかされました。また、玉川先生からは相手によって伝える内容や伝え方を変えるとよいといったアドバイスもいただきました。自分のきこえの状況等をどのように説明すれば理解してもらえるかイメージしながら誰に何を伝えたいかを整理することが必要だとわかりました。

自分の“説明書”の作成を通して、自分を深く知り自分と向き合うことは、自分らしく生きていくための一歩になると思います。

## 生活に役立つ機器！

今年度、東神実業さんのご協力により、生活に役立つさまざまな機器を展示していました。感染症対策のため、みなさんに見て頂く機会を設定できませんでした。ここで、お借りした機器の一部を紹介します。

### ベルマンビジットシステム

センサーが来客・電話/FAX/スマホの着信・赤ちゃんの泣き声・火災報知器に対応。受信機を選ぶことで、光・振動・大音量など、お好みの方法で知ることができます。1つの例を紹介します。

電話、来客  
赤ちゃんの泣き声 ⇒ マルチセンサ発信機 ⇒ フラッシュ受信器 + ベッドシェーカー  
火災報知器

ピカピカ

ブルブル

お客さんだ！

## 社会福祉制度について

社会福祉制度により、さまざまな助成や支援があります。ろう学校に在籍している間は、保護者の方が申請をしていると思いますが、高等部卒業後は少しずつ自分でできるようにしていきましょう。ここでは、聴覚障がいに関わる福祉制度について松江市を例にいくつか紹介します。

○補聴器の購入…購入(修理)前に申請が必要。所得による制限等がある。

手帳	制度	給付/助成の対象	概要
身体障害者手帳がある者	補装具の給付	補聴器の購入 補聴器の修理 人工内耳用音声信号処理装置修理	・原則として費用の1割が利用者負担。 ・基準額を超えた分は自己負担となる。
がな(身体障害者手帳)	難聴児補聴器購入助成事業	補聴器の購入 イヤモールドの交換(R3.4.1～)	・両耳の平均聴力レベルが 30dB 以上 70dB 未満で 18 才未満であること。 ・購入費用と基準額で低い額の約 2/3 が助成される。 ・基準額を超えた分は自己負担となる。

○その他(身体障害者手帳が必要)

制度	概要
日常生活用具の給付	・聴覚障がい者用の室内信号装置や目覚まし時計、人工内耳の電池など、生活に必要な用具の購入費用の一部が支給される。
手話通訳者・要約筆記者の派遣	・公的機関・医療機関へ出向くときに申請できる。 ・個人負担なし(団体負担あり) ・一週間前までに申込書を提出する。
自動車運転免許取得費助成制度	・聴覚障がいの場合、障がいの級が2級、3級の人。 ・費用の 2/3 以内で 10 万円を限度に助成される。 ・運転免許証の交付を受けた日から1年以内に申請する。 ・教習所料金等受領証明書が必要。

★この他にもいろいろな制度があります。市町村のHPなどで調べてみましょう★

○福祉制度利用の際のポイント

- ①申請することで、制度を利用することができます。  
行政から案内がくるわけではありません。どのような制度があるのか市役所に相談に行ったり、HPなどを活用したりして調べましょう。
- ②自治体によって、制度の内容や手続きの方法が異なることがあります。  
細かい内容や手続き方法はそれぞれの自治体で異なるので、住民票のある市町村の制度を確認しましょう。
- ③福祉制度での支援にかかる財源は、国民が納めた税金です。  
感謝の気持ちをもって利用しましょう。



## 高等部 A さんのコミュニケーション体験記

A さんは、専門学校への進学を目指し、オープンキャンパスに参加しました。最初は、音声認識アプリがあれば、相手の話す内容が理解でき、自分の話したいことは、スマホのメモに入力して示せば伝えられると思っていました。しかし、実際に体験してみると不便に感じることもありました。そこで、「どうすれば、より使いやすくなるのか。」を考え、企業に問い合わせたり、調べたりして、次の機会には使い方を工夫して参加しました。そこでもまた、改善できる点が見つかり、試してみる→工夫する→試してみる、をくり返してきました。3月までに、オープンキャンパスへの参加は9回に及びます。ここでは、A さんが実際にどんなことを試して、何を感じたのかを紹介します。

### ★使用した機器の紹介★

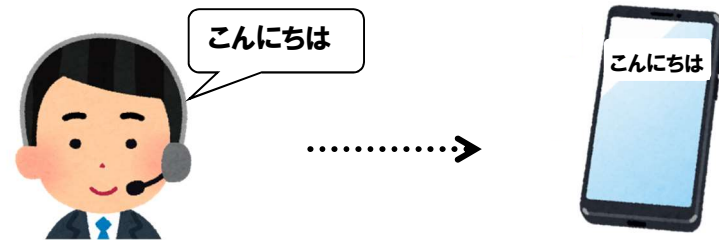
#### 音声認識アプリ

アプリを入れたスマホやタブレットに話しかけると、音声が入力されます。1 台の端末で話してみるだけでなく、複数の端末をつなげられるものもあります。



#### ワイヤレスマイク

音声認識アプリを入れたスマホやタブレットと電波でつなげることで、話す人とスマホが離れていても音声をスマホに届けることができます。



### ○体験記

#### ★自分の言葉を伝える方法★

##### スマホのメモ機能に入力する

✗ スマホは簡単に直せるので、少し文が変だと思ったときにたくさん消して直していた。相手を待たせてしまった。

この頃は、自分の文章に自信がなく、完べきな文章を書こうとしていた。

→ ノートに書いた方が丁寧で、マナーが良いという印象を持ってもらえるかな、と感じた。

##### スマホのメモ機能+ノートで筆談

最初と最後のあいさつは、スマホに入力して見せた。席に座って会話するときはノートに書いた。

→ 立って話をするときはスマホが使いやすい。座るときはノートで筆談がよい。

経験を重ねて、完べきな文章ではなくても伝わるようになってきました。



時と場合で使い分けることができるようになってきました。

### ★相手の言葉を伝えてもらう方法★

#### 音声認識アプリを使う

✗ 常にスマホを持つ必要がある。

置いたり、離れたりすると声が認識されない。  
→ **ワイヤレスマイクがあれば、相手がスマホを持たなくても良いから、使ってみよう!**

#### 音声認識アプリ+ワイヤレスマイク (UHF) を使う

○ 常にスマホを持つ必要が無い。

**ワイヤレスマイクを首の近くにつけるだけなので、相手の負担が少なそう。手ぶらで気軽に話することができる。**

✗ 上手く表示や変換ができないことがあった。  
→ 原因を知りたくて、ワイヤレスマイクの会社にメールで質問したところ、「同じ電波 (UHF) を使う他の機器に電源を入れると、干渉しあって上手く表示できなくなる」ことがわかった。専門学校に確認すると、他のハンドマイクも UHF であることがわかった。

この専門学校で勉強していきたいので、授業が理解できないと困る!



→ 他の電波 (20Hz) を使うワイヤレスマイクなら大丈夫ではないかと父に教えてもらった。

何回もやってみると、気づかなかったことに気がつける!



A さんに話を聞いて、実際にやってみる大切さを改めて感じました。便利な道具があり、これを使えば大丈夫と思っていても、想像通りにはいかないこともあります。また、今回紹介した方法は A さんにとってよい方法であり、他の人にあてはまるとは限りません。A さんも今後の学生生活でまた工夫を重ねていくと思います。A さんの体験が、みなさんの「やってみよう」を後押ししてくれることを願っています。

#### 音声認識アプリ+ワイヤレスマイク (20Hz) を使う

○ UHF のマイクと比べて変換が速くて誤変換が少なかった。

#### ★新しい発見!★

✗ 体験の時に、20Hz マイクの電池が切れてしまったので、UHF マイクを使った。この日は、参加者が多く、先生がハンドマイクを利用して説明した。すると、正しく表示された。「**大きくはっきりと話してもらえると大丈夫じゃないか!?**」と気づいた。

#### 音声認識アプリ+ワイヤレスマイク (20Hz) を使う+「声を大きく、はっきり話してください」と事前に伝える。

今は、この方法で参加しています。今後も相手方と相談しながら色々試していきたいです。



### ★面接試験に向けて★

#### スケッチブックに書いて答える形

✗ 書くのに時間がかかり、他の受験生と比べて質問数が少なくなる。  
→ 専門学校から、パソコンでチャットをする方法を提案してもらった。

#### 面接官は音声認識アプリ+自分はパソコンのチャットで伝える

✗ 音声認識アプリは時々誤変換があり、質問が正しく伝わらないことがある。  
→ 面接官もパソコンで入力すると提案してもらった。

#### パソコンのチャットを用いて面接を行う+面接時間の延長

スムーズに面接を行うことができた。  
**専門学校と色々な方法を試して、実際の方法を決めました。**